

## 春のつどい報告 2018年3月25日にシェア奥沢にて開催しました

春のつどいの第1部は、20周年記念ということで、まず会のこれまでの歩みを、写真を見ながら皆で振り返りました。その内容は通信第70号に概要を掲載したものです。引き続き、世田谷区都市デザイン課の水野幸さんに兵庫県の事例をご紹介いただきました。とても良い内容だったので次ページに概要を掲載させていただきました。



第2部は、奥沢在住の中熊克彦さんによるコカリナコンサートで、名曲の素晴らしい演奏を楽しみました。コカリナは、笛と違い底が閉じられ閉管になっているため、木の優しい音色で、3連4連など横につながるものは広い音域をもっています。



コカリナ

第3部は、会の新事務局長 中村 修さんから「奥沢ガーデンシティ構想」(仮称)についてご説明いただきました。これは、公園の少ない奥沢に新たに公園をつくるのではなく、各宅地で「開かれた庭」を作り、それらがつながることでまち全体を公園にしまおう、という考えです。敷地に余裕の無い場合

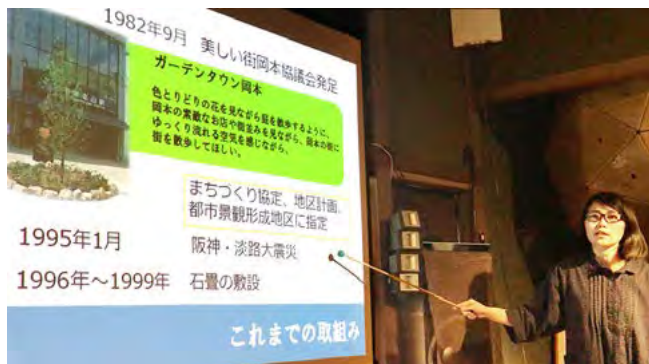
には、プランターや植木鉢でもOKです。みどりの相談、苗の頒布会、落ち葉掃きのほか、樹木の剪定を通りごとに一緒に行く、通りに樹木の名前をつけるといったアイデアもあります。この提案に対して、参加者の皆さんに自由にご発言をいただきました。

◎1丁目、3丁目は、2丁目に比べるとみどりを植える場所が少ない。小さな場所で緑化に協力することが必要ではないか。◎奥沢に越してきて、公園が無いのでびっくりした。奥沢らしさとは何かまだわからないが、田園調布、自由が丘とは違う何かを明確に作るができると思う。◎奥沢全体を公園にしようというアイデアはとても良い。田園調布は冷たいが、奥沢は地域的に休まる所だ。ひとりひとりが取り組むということが良い。◎奥沢にはやわらかさがある。訪問者が「いいところだ」と言って歩いている。◎敷地の細分化は避けられないが、小さくなったらなごに雰囲気が伝わる街が良い。◎シンボルツリーは維持管理が大変なので、小さなみどり、開かれたみどりを。◎奥沢らしい樹木を決めて苗木を配布する、種の情報を提供すると良い。(区主催の意見交換会で出たアイデア) ◎4丁目、5丁目も公園が無い。4丁目が開かれた庭を探索したが、とても多くの家に開かれた庭がある。これから5丁目にも拡げる。「お花しの会」を作ったが、花の話をする止まらないという会が至る所にできると拡がる。ガーデンシティ構想の萌芽はかなりある。◎奥沢にはもともと荒地や竹林が多かったが、そういう風景も作れると良い。◎みどりを地域の財産として皆で守る活動をするうちに、長い間に顔見知りが増えた。一番大切なことは地道な活動で、これからも続けていきたい。◎いかにして若い人が参加するか。みどりに関われば幸せになれるので、新たにやろうという人を増やしていきたい。

奥沢ガーデンシティ構想(仮称)は、まだアイデアの段階ですが、土とみどりを守る会としては奥沢交和会などと連携し、その具体化に向けた試行を行うことを検討しています。区によるかいわい形成地区の制定とも連携し、行政、住民それぞれの立場でできることをつなげていきたいと考えています。

# 神戸市岡本地区の取り組み

世田谷区都市整備政策部都市デザイン課  
水野 幸さんによるプレゼンテーションから



兵庫県神戸市東灘区の岡本地区（約10ヘクタール、人口1500人）では、「美しい街」を目標として、住民発意のまちづくりを進めている。もともと自治会、町会が無いエリアで、1982年9月に「美しい街岡本協議会」ができた。住宅地区、住商協調地区、商業地区の全員が会員となっている。



住んでいなくても岡本地区が好きな方も入れるのが特徴。岡本駅周辺の石畳の整備、花壇の整備、清掃、まちづくり協定、地区計画、都市景観形成地区の指定などを、官民連携で実施してきた。2006年創刊の季刊報「美しいまち岡本」の発行、「もっと美しいまちづくり宣言」の採択など、土とみどりを守る会の取り組みと類似点が多い。

## 屋外広告物ルール&ガイドライン

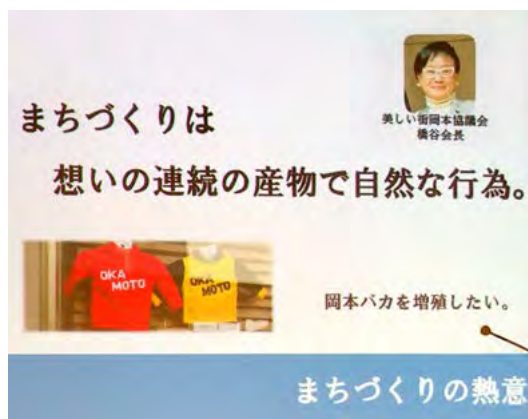
- 2009年～ 屋外広告物ルールの勉強会開始
- 2010年 ☆幹事による実態調査実施  
☆素敵なお店アンケート実施  
☆勉強会・座談会・視察を実施
- 2011年 屋外広告物ガイドラインの検討開始
- 2012年 ☆看板の勝手提案コンテスト  
☆通りを構成する印象要素の調査
- 2013年 屋外広告物ルール&ガイドライン検討
- 2015年 屋外広告物ルール&ガイドライン決定

幹線道路の無秩序な看板に危機感を感じ、2009年から屋外広告物ルールの勉強会を住民が主体となって始め（行政はアドバイザーを派遣）、約8年がかりでガイドラインを決定した。

## 事前協議案件の事例



ルール：絶対守らなければいけない  
ガイドライン：岡本らしさを作ってほしい  
事前協議 美しい街岡本協議会への相談・協議のあと、市への届け出で許可申請  
ガイドラインでカラフルなサインを規制し、白黒、あるいは色を反転させるといった誘導を行う。



「橋谷会長」まちづくりは想いの連続の産物で自然な行為、「岡本バカ」＝岡本を好きな人を増やしたいと言う。

そもそもは住民の発案による取り組みが、官民一体となった仕組みへと展開したまちづくりの成功事例です。このような取り組みが功を奏し人気の街となり、各停だけだった駅に急行が停車するようになったそうです。岡本地区は主に商業施設を対象として屋外広告物を規制、誘導する取り組みですが、奥沢では、みどりをテーマとして同じような展開ができると良いと思います。（堀内）

# おくさわ今と昔

このシリーズでは奥沢エリアにお住まいの方に、この街にちなんだエピソードを語っていただきます。

## 「むかしの奥沢」

奥沢二丁目 三浦誠一

私が奥沢海軍村に移って来たのは小学六年生の時である。それまでは江戸時代の刑場跡近くの鈴ヶ森小学校に通学していた。八幡小学校への転校は卒業が近いのでせずに、鈴ヶ森小学校を続けることにしていた。

大井町線は昭和2年に大岡山まで開通したが、鈴ヶ森に行くには家を出て竹藪の中を通り抜け、八幡通りに入る。そこから今の車両基地西角にあった変電所の下まで、当時「都市の地所」と言われていた何も無い原っぱの中を真っすぐ歩き、奥沢駅に出て田園調布まで行き、更にそこから会社の違う小さいボギー車に乗り換え蒲田に、更に国鉄で大森駅まで、そこから歩いて小学校へ毎日通った。田園調布蒲田間の運転手さんは田園調布で改札もしていた。ある日地図で諏訪分、新奥沢に電車の新線があるのを知り見に行った。奥沢駅から南に真っすぐの畑の中が終点で、雪が谷駅に引き返すところを見た。

海軍村は本庁や横須賀の偉い人が多く居られていた。農地の中に畑や肥だめもあった。昔の地図にある海軍村台地の東側、沖の谷の先はドイツ村とも言われていた。海軍村の北側は松林で、そこを抜けると呑川支流（九品仏川）、当時は子どもでも飛び越えられる小さな川だった。その先は畑や田んぼで、遊ぶのには良い広場だった。工事の中丸山駅（緑ヶ丘）では当時は機械がまだ無いので大きな松の木を工大の中に移すとか聞いたが、何人もかかって大変な作業に見えた。大岡山の大地から見えたのは奥沢の大ケヤキだった。今は枝が切られ情けない姿になっている。でも毎年葉を茂らせてくれている。有難いことだ。大井町線工事で松林が最後になくなったのは海軍村の北西の角、今のヤマダ電機へ行く踏切の坂の上だった。

226事件をラジオで聞いた。大雪で電車も止まって動かない。奥沢の駅の踏切に行ってみた。海軍村は忙しい。横須賀からか迎えきた水兵さんの運転する自動車を何台も見た。いつも駅から西に見えていた八幡小学校、その上に見えていた富士山は天気が悪くて見えず、遮断機の竹にも雪が積もっていた。

## 「奥沢に住んで」

奥沢二丁目 岩下晶絵

「ピッピッピ、ピチクリ、ピー。」

小鳥さんのさえずりで目を覚まします。都会では考えられない夢のような生活が実現しました。それは四年前のこと。自由が丘のショッピングの人混みを抜け、奥沢に歩みを進めた時の静けさ。

「あの喧噪から、この静けさ。」「信じられないわね。落ち着いた佇まいで静かでもとてもいいわ！」

手入れをされた木々にお花が咲き乱れ、やわらかい香りが満ちていました。初めてお家を見せていただき、一目で気に入り、奥沢の住民になりました。

奥沢は静かな佇まいだけれど、子ども達も多く住んでいて、休日になるとサッカーや野球を興じています。公園でも子ども達が遊んでいて微笑ましい光景が見られます。

アイビーを切っていたシェア奥沢オーナーの堀内さんに声をかけ、アイビーを分けてもらったことがシェア奥沢を知るきっかけになりました。家族五人でイベントに参加したり、長男には「奥沢ブッククラブ」を立ち上げる機会をいただきました。シェア奥沢で出会った方々との交流は、私たちの生活を深め、日常生活に彩りを添えるアクセントになっています。

今号は旧奥沢海軍村エリアにお住まいのお二人にお願いしました。三浦誠一さんは昨年12月に100歳のお誕生日をお迎えになりました。お元気にお過ごしの方々の三浦夫妻のライフスタイルをぜひ見習いたいものです。（堀内）



# 活動報告

●今年の奥沢文化祭が、2月17日(土)・18日(日)に奥沢地区センターで実施されました。土とみどりを守る会では20年史パネルや、PCモニター(ディスプレイ)を展示に活用し、みどりの街づくりガイドを配布しました。ガイド配布は概ね好評で、ディスプレイ画面には多くの方が足を止め、ご質問も数多く受ける結果となりました。今年も赤松さんのご活躍に感謝しています。

●今年の春のつどいは、3月25日(日)にシェア奥沢で実施されました。内容は20周年記念として、①歴史レビュー(堀内会長によるスライドショー)・芦屋市岡本地区のまちづくり報告(世田谷区から水野さん)、②音楽会(中熊さんコカリナ演奏(小さな木製楽器)、須山さんピアノ伴奏)、③座談会(ご出席いただいた皆様からのご意見・ご要望等)でした。今後とも出席者の皆様とのコミュニケーションを大切にしたいと思います。

●会のシンボル、チェリーセージプランターのメンテ作業を、4月1日(日)に実施しました。参加者の皆様のおかげで順調に作業が進み、予定より早く終了しました。この秋にもプランターのメンテ作業を予定していますので、より多くの方のご参加をお待ちしております。

## 編集後記

20周年の節目を迎え、土とみどりを守る会の活動を改めてふりかえる、良い機会となりました。

この会が取り組んできたテーマはどれもとても地味な内容だと思います。特にエポックもなく、継続している活動ですが、景観や風景といった資源を守り育て、地域に落ち着いて住み続けるためにはそのような姿勢が大切だと考えています。

「奥沢ガーデンシティ構想」(仮称)は、会のこれまでの活動の延長線にありますが、先日のつどいで皆さまのご意見をうかがい、少し自信がつかしました。このような新しい流れが生まれることで、一般の方の関心が高まることを期待したいと思います。

このニュースレターは、久々に私が全面的に編集しました。文字が多く固い内容になってしまいましたが、ご意見をいただくと有り難いです。(堀内)

# 会からのお知らせ

★今年のミニ園遊会を、5月13日(日)11時30分よりシェア奥沢(奥沢2-32-11堀内宅)で開催します(雨天決行)。花の苗の販売や、無料のお茶やお菓子を用意して、皆様をお待ちしております。

★NPO法人土とみどりを守る会の総会を、ミニ園遊会に先立ち同日の10時30分から開催します。会員の皆様には出欠の葉書をお送りしましたので、総会欠席の場合は委任状に捺印の上ご返送下さい。総会はシェア奥沢の室内で開催するため、雨天でも実施します。

★今年は6月のフラワーアレンジメント講習会を見学会(花の横浜山手西洋館めぐり)として開催します。6月9日(土)の実施予定で、会員の皆様、詳しくはチラシをご覧ください(募集定員15名)。

## 会の事務局長が交代しました。

鈴木仁さんには、約10年の長きにわたり事務局長をお勤めいただきました。どうもご苦労様でした。



新しい事務局長は 中村修さんです。奥沢ガーデンシティ構想(仮称)の発案者のおひとりで、これからの会の新しい取り組みを推進していただけることと思います。どうか、よろしく願いいたします。

◎土とみどりを守る会では、いつでも新会員を募集しています。会の活動を支える年会費は1口1,000円です。活動に参加されなくても、会を継続的にご支援頂ければ幸いです。どうぞ御協力をお願い致します。入会希望のご連絡は下記へどうぞ。

## 土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 6421-2118

世田谷区奥沢 2-11-8 中村 修 3718-2569

世田谷区奥沢 2-41-2 玉置敬子 3724-1077

ホームページ : <http://tsuchimidori.net>

e-mail : [info@tsuchimidori.net](mailto:info@tsuchimidori.net)

fax : 03-5701-5903